



ニュースレター 2014春号 目次

- ◆ 守谷サービスエリア 防災拠点の5つの秘密……………2～3P
 ～ SAPAでの初めての試み 首都直下型地震時の防災拠点として ～

- ◆ 高速道路料金改定 平成 26 年 4 月からスタート ……………4～6P
 料金所でのサービスタイム短縮に向けた取り組み
 ～ 50円単位から10円単位の料金へ。課題は、10円硬貨4枚 ～
 👉 インタビュー (株)トール関東 港北事業部 戸塚料金所 加藤 美代子

- ◆ Q & A 高速道路料金って、どうやって決まっているの？何に使っているの？……………7P
- ◆ 外環道 和光北IC～戸田西IC(外回り)で昼夜連続車線規制を行います……………8～9P
 ～ 工事期間中は戸田西ICを先頭に約10km、通過に1時間以上かかる渋滞が予想されます ～
- ◆ @コラム WOMAN ENGINEER ……………9P
 👉 インタビュー 倉西 貴子 (ネクスコ東日本関東支社 谷和原管理事務所 施設担当)
- ◆ 圏央道(稲敷IC～神崎IC) 4月12日開通……………10P
 ～ この開通により、利根川を越えて、茨城県と千葉県が結ばれます ～
- ◆ 姨捨SA(上り線)・市原SA(下り線) ドラマチックエリア グランドオープン……………10P
- ◆ 編集後記

守谷サービスエリア 防災拠点の5つの秘密！

～ SAPAでの初めての試み 首都直下地震時の防災拠点として ～

3月19日にリニューアルオープンした守谷サービスエリア(SA)上り線は、道ナカ商業施設「Pasar守谷」のほか、SAPA初の試みとして、災害時の防災拠点としての機能を備えています。

これは、東日本大震災時に高速道路のSAPAが自衛隊や消防機関などの中継基地として利用された経験を踏まえ、災害時に災害対策室に切り替わるフードコートや自家発電設備の整備など、首都直下地震に対処する自衛隊を始めとした関係機関の前線基地モデルとして整備されたものです。

今回は、守谷SAに施された防災拠点の秘密について、ご紹介します！

秘密1

災害対策室に切り替わるフードコート

普段は、お客さまのお食事や憩いの場として利用されるフードコート。ひとたび災害が起こると、自衛隊を始めとした関係機関が情報入手・共有を行う「災害対策室」に早変わりします。（これを『リバース運用』と呼んでいます）。フードコートの机・椅子はもちろん、植栽も可動式。道路情報モニターも、関係機関から提供される被災地の現況や気象状況を映し出すモニターへと切り替えられます。

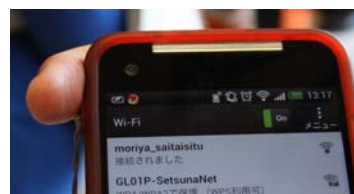


通常のフードコート(上段)から「災害対策室(下段)」へと約20分で切り替え。植栽が撤去され、情報伝達用のホワイトボードが搬入される。

また災害対策室では多くの電子機器が使用され、インターネットを介して情報伝達・共有が行われます。停電時にも利用できる自家発電からつながったコンセントや、Wifi環境が整備され、各機関が持ち寄る最新機器の機能が十分に発揮できる環境が整っています。



フードコート座席下に整備された自家発電コンセントとLAN。災害時に開放され、各機関が使用する。



災害時に整えられるWifi環境。訓練でも「moriya_saitaisitu（守谷災害対策室）」の表示が。

秘密2

各所に設けられる救護スペース

高速道路を走行中に負傷された方などの救護スペースが、1階のフードコートと授乳室、2階の従業員休憩室に設けられます。1階 授乳室と、2階従業員休憩室を活用した救護スペースは、停電時にも快適な温度が保たれるよう自家発電設備による空調が整えられています。また、従業員休憩室の救護スペースには収納ベット8基が備え付けられ、非常時の病床が確保されています。



商業棟2階従業員休憩室。通常は、休憩のほか、テナントの打ち合わせスペースとして使用。



カウンター下に、収納ベットを整備。片手で簡単に展開できる。



外部には、一時避難など他目的に活用できるエアートントを準備。



秘密3

生まれ変わったヘリポート

守谷SAには元々ヘリポートがあったのですが、今回の防災拠点化に合わせて、ヘリポート機能の向上を図りました。自衛隊の中型ヘリや、ドクターヘリ、報道ヘリなどが利用することを前提に、従来の20m四方から30m四方にスペースを拡大して着陸帯の舗装整備し、夜間照明を設置しました。また災害時には、多くのヘリがこのヘリポートを利用することを想定して、ヘリの離着陸をコントロールする、いわば管制塔の役割を担う事務室を、ヘリポートが見える位置に整備しました。



ー昨年9月の訓練(ヘリポート改良前)では、実際にヘリの離着陸訓練が行われました。

秘密4

災害時の飲料水確保…井戸

東日本大震災時にも飲み水はもとより、衛生面から大きな課題となった水の確保。断水が起こった時を考え、守谷SAでは、井戸を整備し、当面トイレの洗浄用水として利用します。今後、飲料水としても活用できるように過装置を整備する予定です。



手前のコンクリート部が井戸。奥は貯水槽。

秘密5

炊出時に早変わり…かまどベンチ

防災拠点に一時避難された方や集結した関係機関の方の食事が必要。ガスや電気の供給が絶たれた時のため、かまどを今後整備していきます。普段はベンチとして利用。探してみてくださいね。(今夏整備予定)

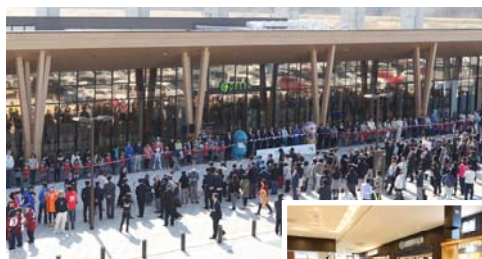


ベンチの座席部を取り外すと、長方形のかまどに早変わり。本年夏を目途に、整備予定。

このほか、守谷SA上り線には、緊急車両が下り線側と行き来できる緊急開口部の設置や、備蓄資材(水や食料、毛布など)を収納する大型倉庫などを整備しました。

高速道路のSAPAの防災拠点として工夫を施したこの守谷SA上り線。防災拠点として使う機会が無いのが一番ですが、いつ来るか分からない首都直下地震に備え、今後も防災訓練を通じて防災拠点機能を検討していきます。

◆ Pasar 守谷(上り線) 3月19日 オープン！



3月19日に守谷SA上り線にPasar守谷がオープン！

オープン当日は、幼稚園のみなさんや沿線自治体のキャラクター、警察・消防、テナントの皆さんなど、総勢115名で華やかにテープカットを行いました。

Pasar守谷には、いずれも高速道路初出店となる地元茨城のステーキ専門店「クックバーン」、どら焼き専門店「志ち乃」、バウムクーヘン専門店「花水木」のほか、地元野菜を販売する「守谷やさい村」など、自然豊かな地元茨城の味がいっぱい詰まっています。

常磐道をご利用の際は、ぜひPasar守谷(上り線)にお立ち寄りください！

料金所でのサービスタイム短縮に向けた取り組み

～ 50円単位から10円単位の料金へ。課題は、10円硬貨4枚 ～

平成26年4月1日午前0時から、新しい高速道路料金がスタート。消費税率増加分を高速道路料金に適正に転嫁するため、料金は現行の原則 50 円単位から 10 円単位へと変更されます。この変更に伴い、料金所の一般ゲートでは10円硬貨での料金収受が発生するため、料金所では、サービスタイム増加による渋滞を発生させないよう準備を重ねています。



横浜新道 戸塚料金所

今回は、南関東地区の料金収受業務を行う(株)ネクスコ・トール関東の港北事業部にお伺いし、横浜新道・戸塚料金所における10円単位の現金収受の事前準備について取材しました。

◆ 課題は『10円硬貨 4枚』

戸塚料金所は、保土ヶ谷 IC と戸塚出口をつなぐ横浜新道の本線上に設けられており、1 日に約7万台のお客さまが利用される大規模料金所です。

横浜新道は走行区間に関わらず全線均一料金となっており、現在、普通車料金は200円。ところが、今回の消費税転嫁を受けて、普通車料金は210円へと改定されるため、これまでは3種類の硬貨(50円、100円、500円)での料金収受を行っていたところ、今後は10円を加えた4種の硬貨を組み合わせて料金収受を行うことになります。



加藤美代子さん
(トール関東 港北事業部戸塚料金所 勤務)
入社7年目。接客業が好きで入社。お客さまに気分よく利用してほしいと、毎日の挨拶に心を込める。馴染みのお客さまから「加藤さんに会いに戸塚料金所に来た」と言われ、嬉しかったと語る。

「今は頭で考えなくても体が自然に覚えているのですが、改定当初は戸惑うと思います。」と話すのは収受員を務める加藤美代子さん。「料金収受は、接客業。サービスタイムを縮めるために、お客さまへの挨拶を省くわけにはいきません。短縮には、お金をやり取りする時間を縮めるしかないので。」

(横浜新道の料金改定内容)

	軽自動車	普通車	中型車	大型車	特大車	原付自転車
現 行	150	200	250	350	550	50
改定後	160	210	260	360	570	50

消費税転嫁分10円に対するつり銭は、40円と90円。10円玉4枚をいかに素早く準備するかが課題解決の糸口であるとして、トール関東港北事業部と横浜新道の各料金所の収受員が集まり、昨年の12月から対策の検討を始めました。

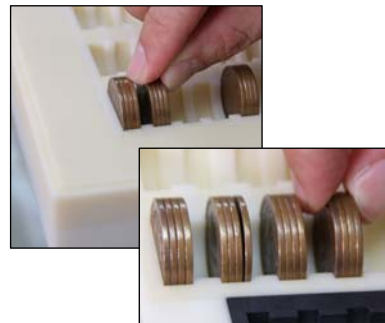
◆ 40円を、お客様にすばやく正確にお渡しするためには

「10円玉4枚をすばやく取れるように、まずコイントレーの制作を始めました。もちろん市販のものはないので、お願いして作ってもらった特注品です。」トール関東 港北事業所 竹内事業課長は語る。

「試作品に対して収受員さんから一番多くいただいた意見は、とにかく重いと。その他にも、40円の間に指が入らずスムーズに取り出せない、特大車向けの30円も用意してほしいなど、現場経験に根付いたたくさんの意見が寄せられました。一つ一つの意見が非常に的確で、収受員の皆さん



左: 試作品。肉厚でずっしりと重い。
右: 改良品。試作品に比べ、薄く、軽い。
30円エリア(黒い部分)を制作。



上段の試作品では、40円の間に筆者(男性)の人差し指が入らず、スムーズに取り出せない。下段の改良品では、人差し指が入った。このわずかな違いが、1秒の短縮を可能にする。

の熱意を感じましたね。」

こうして、意見を丁寧に反映し、改良されたコイントレー。現在は50個制作され、今後、横浜新道の全料金所に設置されます。このほか、機械式の40円払い出し機や硬貨受け渡しトレーなども試作され、サービスタイムの1秒を削り落とす工夫が重ねられています。

◆ 繰り返し、繰り返し、体が覚えるまで

通勤時間帯の戸塚料金所一般レーンは、まさに戦場。車種とお客様の支払われる金額を見て、瞬時にお釣りの額を算出し、スムーズにお渡しする。1台1台ゆくり計算しては、とても間に合いません。

トール関東 港北事業部では、こうした収受機器の工夫に加え、実際の料金機械を用いた模擬料金ブースを制作し、料金収受員のシミュレーショントレーニングを重ねています。

シミュレーショントレーニングでは、お客さまに扮した収受員が車種と支払金額を記載した紙を持ち、挨拶から料金収受に至る一連の流れを時間計測します。基本動作はあるものの、コイントレーや機械式の40円払い出し機をブース内にどのようにレイアウトするかは個人の自由。「落ち着いて、あわてなくて良いから。」仲間で声をかけながら、各自が最も作業しやすいレイアウトを考え、体が覚えるまで繰り返し、繰り返し練習します。

また、シミュレーショントレーニングの合間には、収受員が自作したお釣り計算ソフトを用いて、お釣り算出のトレーニング。収受員ごとに正答率、正答時間が集計され、トレーニング成果が一目でわかるようになっているので、自分はどのパターンが間違えやすいか、しっかりと把握できるようになっています。



模擬料金ブースでのトレーニング。様々な支払パターンを想定して、繰り返し練習します。



PCトレーニング中の加藤さん。画面に表示される車種・支払額に応じて、お釣りを入力。正答率データが蓄積され、トレーニング効果が「見える」化されます。



トレーニング中に生じた疑問は、一旦トレーニングを止め、竹内事業課長を中心に意見交換。「もっとこうしたら？」と収受員からの提案が出てきます。

◆ 高速道路を現金でご利用の際は、ぜひ小銭のご準備を！

今回は、高速道路料金の改定を受けて、料金所でのサービスタイムの短縮に取り組む トール関東港北事業部戸塚料金所取材しました。横浜新道で勤務する料金収受員は、約100名。一人一人が、サービスタイムを短縮すべく、トレーニングを重ねています。

新料金への改定は、4月1日午前0時。高速道路を現金でご利用の際は、ぜひ小銭のご準備を！ご協力をお願いいたします。もちろん、小銭が無くても、当社グループ収受員は心を込めて対応させていただきます。



今回の取材にご協力いただいた横浜新道の料金収受員のみなさん

※模擬料金ブースでの料金収受員のトレーニングは終了いたしました。

《 戸塚料金所 渋滞緩和に向けたその他の取り組み 》

◆ 戸塚料金所上り線 入口レーンの運用の変更

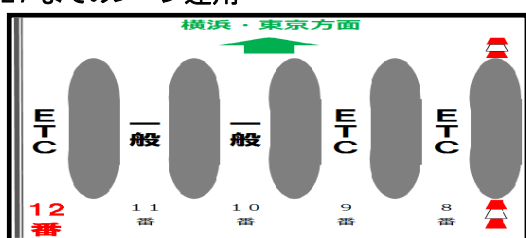
3月28日から、横浜新道戸塚料金所(上り線)の一番左側のレーン運用を変更しました。

これは、消費税率の変更に伴う高速道路料金の改定により一般レーンの混雑が見込まれることなどへの対応として、これまで「ETC専用」レーンとして運用していた一番左側のレーンを、朝6時から9時の通勤時間帯に、一般車も利用できる「混在(ETC/一般)」レーンへと変更するものです。

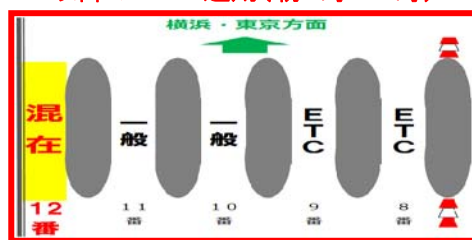
混在レーンは、ETC車のほか、現金で高速道路をご利用いただく方も利用されます。ブース横で一旦停車される場合がありますので、前車に注意しながら、20キロ以下で安全な走行をお願いします。

《イメージ図》

3/27までのレーン運用



3/28以降のレーン運用(朝6時～9時)



※ なお、当面の間、料金所入り口付近に、混在レーンを周知するための看板を設置します。



高速道路料金のお支払いには



が便利でお得！

ETC(Electronic Toll Collection System) は、料金所ゲートに設置したアンテナと、車に装着した車載器との間で無線通信を行い、自動的に高速道路料金の支払いを行い、現金やカードなどを取り出すことなく料金所を通行することができるシステム。平成13年度からの全国展開以降、順調に利用者数が増加し、現在(H26.2 現在)では高速道路をご利用いただく方のうち、約90%の方にETCをご利用いただいております。



ETCを導入すると、通行券の受け取りや支払等のための停車が少なくなり、**料金所をスムーズに通過**できます。また**ETC専用のスマートインターチェンジなども続々と整備**され、高速道路をより快適にご利用いただける便利なシステムです。

また、今回の高速道路料金の改定でも、平日朝夕割引、ETCマイレージサービス、休日割引、深夜割引など、**ETC車専用の割引制度が充実**！

この機会に、ぜひETCのご利用をご検討ください！
(ETC割引の詳細は、HP「ドラぷら」をご覧ください。)



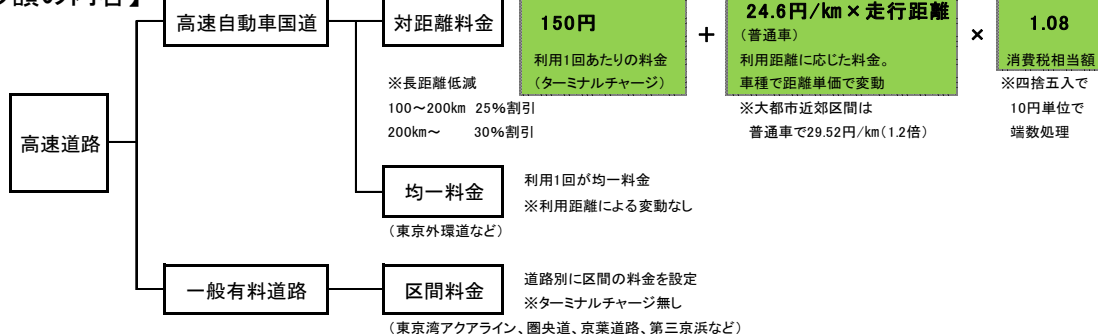
高速道路料金って、どうやって決まっているの？何に使っているの？

Q: 高速道路の料金って、どうやって決まっているの？

A: 高速道路の料金は、①全国の高速道路ネットワークの建設に要した費用(借入金と返済利息)と、②開通から料金徴収期間(平成62年8月まで(会社設立の日から44年11か月))が終了するまでの維持管理費を、料金徴収期間の料金収入等でまかなえるように設定されています。

実際の料金については、自動車の車種(軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車の5車種)と、ご利用いただく距離によって決まります。均一の料金設定となっている区間(東京外環道など)や、区間料金(一般有料道路)となっている道路もあります。

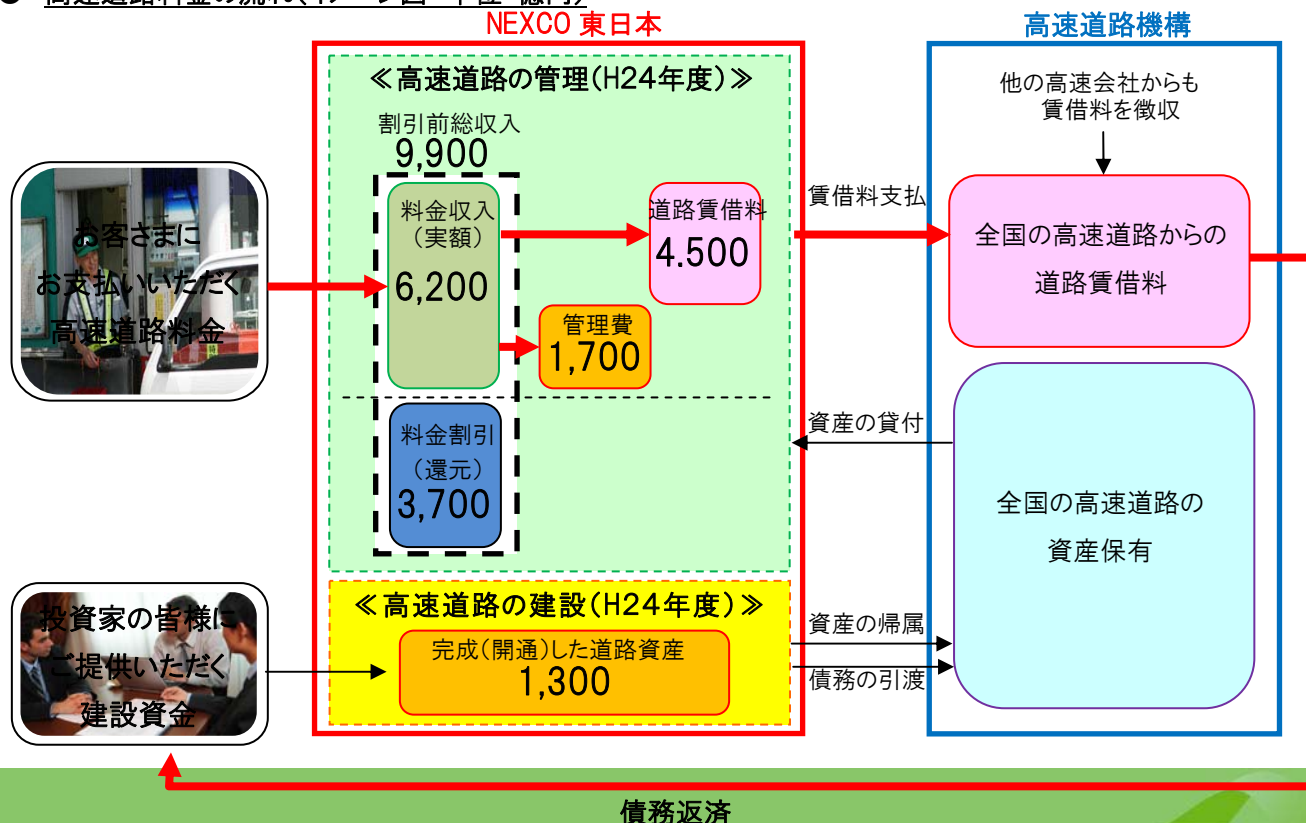
【料金の額の内容】



Q: 高速道路料金は、何に使っているの？

A: NEXCO 東日本がお客さまからいただく高速道路料金は、年間約 9,900 億円。そのうち 3,700 億円を料金割引にあて、お客様に還元しています。料金収入から高速道路の維持管理にかかる費用約 1,700 億円を差し引いた約 4,500 億円を、道路賃借料として機構に支払い、道路建設に要した借入金の返済に充てています。なお、高速道路料金には、会社の利益(民間会社という営業利益)は含まれません。

● 高速道路料金の流れ(イメージ図 単位:億円)



外環道 和光北IC～戸田西IC(外回り)で昼夜連続車線規制を行います ～ 工事期間中は戸田西ICを先頭に約10km、通過に1時間以上かかる渋滞が予想されます ～

外環道 和光北インターチェンジ(IC)～戸田西IC間(外回り)で、2車線のうち1車線を最大80時間昼夜連続して規制し、橋梁(鋼床版)の長寿命化工事を実施します。

この工事は、重量物を積載した大型車が繰り返し通行することで、鋼床版が金属疲労を起こし、き裂が多数発生しているため、補修・補強をすることで橋梁の長寿命化を図るために実施するものです。

工事では走行可能な車線数を減少させる車線規制を実施するため、朝・夕の交通量の多い時間帯には約10km、通過に1時間以上かかる渋滞が予想され、周辺の一般道路でも混雑が予想されます。

お出かけの際には、公共交通機関のご利用や、時間に余裕をもった迂回に、ご理解とご協力をお願いいたします

1. 工事期間と工事区間

●工事期間 (詳細は、カレンダーをご参照ください)

(1)平成26年4月13日(日)21時～17日(木)5時まで (走行車線規制)

(2)平成26年4月20日(日)21時～23日(水)5時まで (追越車線規制)

●工事区間 (和光北IC～戸田西IC間)



※大泉JCTから和光北ICまでは3車線ですが、規制箇所では1車線まで絞られます。

※なお工事期間中は和光北IC(外回り:三郷方面)入口は閉鎖いたします。

●工事実施カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
4月	13	14	15	16	17	18	19
	21:00	走行車線規制				5:00	
		21:00	21:00	21:00	予備日	5:00	5:00
	20	21	22	23	24	25	26
	21:00	追越車線規制				5:00	
		21:00	21:00	21:00	予備日	5:00	5:00
	27	28	29	30	1	2	3
5月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	21:00			予備日			5:00

※連続車線規制予定時間内に荒天が予想される場合、工事は翌日(月～)、翌々日(火～)もしくは5月11日(日)から17日(土)の同じ時刻の予備日に順延いたします。なお、土・日曜日の日中及びGW期間となる4月26日から5月10日は工事を実施しません。

※工事の実施判断は、実施開始日の17時に行います。

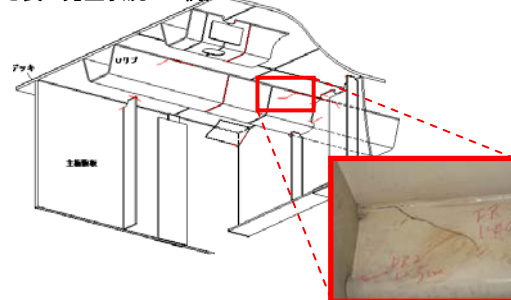
2. 工事概要

外環道では、大泉IC～三郷南IC間の約34kmのうち、約27kmが橋梁区間です。そのうち、約2.6km(12橋)に鋼床版を使っています。これらの鋼床版において、詳細な点検を実施した結果、金属疲労と思われる大小のき裂が合計2,800カ所程度発見されています。

疲労き裂は、大型車の重交通により繰り返し荷重が加わった結果、金属疲労を原因として発生したものと考えられ、特に積載重量をオーバーした「過積載車両」が大きく影響していると考えられます。

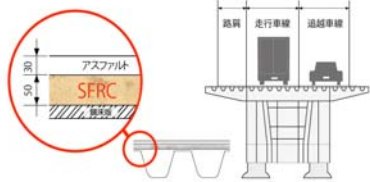
疲労き裂が深刻化すると、路面陥没等の恐れがあります。今回の工事では、このき裂が深刻化する前にき裂の補修を行

(疲労き裂の発生状況 一例)



い、さらに短期間で再損傷しないよう補強工事を実施します。

(鋼床版の補強)

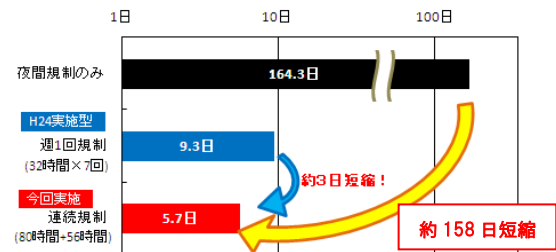


今回実施する補強工事は、鋼床版上のアスファルト舗装(8cm)を、表面は通常通り走行性の良いアスファルト舗装(3cm)のまま、下面を剛性の高いコンクリート(通称SFRC:鋼繊維補強コンクリート)(5cm)に置き換えることで、鋼床版に作用する負荷を軽減させ、疲労損傷の抑制・防止を図ります。

！ お客さまへの影響を最小限にとどめるために ～工事期間の短縮～

今回の工事の施工延長は走行車線・追越車線で合せて約1,000mあるため、通常の舗装補修工事(21時～翌6時の9時間の夜間規制、1回の規制で6m程度の施工)と同じ手法で施工した場合、164日必要な計算になります。また、平成24年に実施した1週間に1回(日曜日21時～火曜日6時)の30時間規制で施工した場合、今回は7回【走行車線4回+追越車線3回】の規制を実施する必要があります(日数換算で9.3日)。

このような長期間の工事を避け、お客さまへの影響を最小限にとどめるため、今回の工事では、延べ136時間【走行車線80時間+追越車線56時間】(日数換算で5.7日)の連続規制といたしました。ご理解とご協力をお願いいたします。



@コラム
WOMAN ENGINEER

～ 日々挑戦、日々失敗。モットーは「失敗しても、次に活かす！！」～
倉西貴子さん 谷和原管理事務所 施設担当

幼いころから不動産屋の広告にある間取り図を見るのが好きで、家族と住むならこんな家と、間取りを“プランニング(妄想！)”するのが好きだった。興味と親類の勧めもあり大学は建築分野に進んだが、「家というミクロの世界では飽き足らず」、都市計画を学びに大学院へ。自分の専門を活かしてモノづくりに携わる仕事を志望して就職活動を始めたころ、東日本大震災が発生。報道などからネクスコ東日本という会社があるのを知り、興味を持つ。面接では「私のベストウェイを作ります！」と言ってみたものの、実はペーパードライバーで、高速道路を自分で運転したことはほとんどなく専ら助手席専門。ご縁があって内定を貰った後、高速道路について本気で勉強しはじめたとのこと。

初任地が谷和原管理事務所、現在はグループ会社との協定業務や守谷SAの施設改良を担当。業務を進める中では、専門の建築だけでなく、電気、通信、機械など、幅広い業務知識が必要。事務所内の人たちに教わりながら、暗中模索の状態が続いている。モットーは、「失敗を、次に活かす！」。



昨年、佐久競歩大会に出場。富士山にも登った。「難しいことにチャレンジしてクリアしていくことが好きなんです」と話す。「勉強は楽しいですよ。自分が限界まで頑張れば、結果がついてきますから。私はタフな方だと思います。ただ仕事はそういう訳にはいかないですよな。」自分ひとりだったら体力、気力の限界を超えるまで頑張れると思うが、それだけでは仕事というのは成り立たない、多くの人が関わって大きな目標に向かってみんなで仕事しているのだと、ヒシヒシと実感しているのだそう。

失敗の積み重ねが、いつか成功にかわる。野望を心に秘め、倉西さんの挑戦は続く。



倉西貴子(くらにし たかこ)
平成24年度 入社 栃木県出身
人物紹介: ユースホステルとバスを利用しての海外一人旅が趣味。珍しい建築を写真に収め、コレクションが溜まると至上の喜びでニヤニヤしてしまうとのこと。クルクルと変わる表情や、感情豊かな話しぶりが、印象的。

圏央道(稲敷IC～神崎IC) 4月12日開通

～ この開通により、利根川を越えて、茨城県と千葉県が結ばれます ～

国土交通省とともにNEXCO東日本が事業を進めてきた首都圏中央連絡自動車道(圏央道) 稲敷IC～神崎IC間が、平成26年4月12日(土)15時に開通し、茨城県と千葉県との高速道路ネットワーク整備がまた1歩進みます。

成田国際空港における国際航空貨物輸出量の約3割は埼玉や北関東・東北方面から発着しており、現在、その主な輸送ルートは都心を経由して東関東道が担っています。今後の圏央道の進展により、都心を経由せず、埼玉や北関東・東北方面と成田国際空港を結ぶ新たな広域ルートの形成が期待されます。

引き続き、残る区間についても早期開通に向け整備を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。



※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

姨捨SA(上り線)・市原SA(下り線) ドラマチックエリア グランドオープン

ドラマチックエリア市原(下り線) ～3/26(水)10時グランドオープン～



ドラマチックエリア市原(下り線)のコンセプトは、「食べて、遊んで、房総を思いっきり楽しむマーケットプレイス～BOSO FUN CLUB～」

房総ならではの海の幸・山の幸や地域の隠れた名物・銘品、旅の高揚感が高まる楽しさ・賑わいをギュッと詰めました。

春を迎え、これからが房総半島のシーズン！

花めぐりや果物狩り、サーフィンや釣りなど海のレジャーで房総半島に向かわれる皆さま。

高速道路をご利用の際は、ぜひドラマチックエリア市原(下り線)にお立ち寄りください！

ドラマチックエリア姨捨(上り線) ～3/29(土)11時グランドオープン～



ドラマチックエリア姨捨(上り線)のコンセプトは、「文化宿のおもてなし ～月の里 おばすて～」

信州姨捨地域は、昔から歌人や俳人が数多く訪れ、和歌や俳句に詠まれてきた名月の里。重要文化的景観に選定された棚田や「田毎の月」の夜景など、文化的環境に囲まれた地域。

信州の食や銘品を取りそろえ、この姨捨に宿る文化や自然環境を旅の余韻として楽しんでいただく和みの空間を演出します。

また姨捨SAからは眼下に広がる千曲市の眺望を楽しめ、特に夜景はNEXCO東日本の多くの社員が勧める絶景です！



【編集後記】

はじめまして。昨年の12月に広報課に参りました島田です。どうぞよろしくお願いします。

近所の桜も開花し、だんだんと春を感じられるようになりました。高速道路には隠れた桜の名所がたくさんあります。お酒を飲みながらの腰を据えたお花見もいいですが、桜並木の高速道路を走るのも、いいものですよ。みなさんもお花見ドライブにぜひお出かけください。でも、わき見運転には十分ご注意ください！